

第107回 二科展巡回鹿児島展

令和6年3月3日(日)～10日(日)
鹿児島県歴史・美術センター黎明館



会場式風景



ギャラリートーク風景



チャリティ作品展示

巡回鹿児島展が令和6年3月3日(日)～10日(日), 鹿児島県歴史・美術センター黎明館で開催された。

巡回鹿児島展初日は、鹿児島マラソンと重なり、交通規制など心配しながらオープンした。オープニングでは主催者を代表し祝迫正豊支部長があいさつ。鹿児島県民に60余年にわたり「鹿児島に春を呼ぶ美術展」として親しまれていることを紹介。初日、東京から吉野毅常務理事らの同席を戴き、南日本新聞社、西健吉常務理事、支部長の4人でテープカットを行なった。開場式の後、西健吉常務理事、午後は祝迫、野平、平林がギャラリートークを担当した。会期中、土、日の午前、午後にそれぞれ会員によるトークを実施し、参加者も多かった。

会期前の準備など幾らかの反省は残るが支部同人がそれぞれに協力して事故なく開催出来た。

会期7日間の入場者数は、2700人。コロナ禍の105回展から約600名、第106回展より約300人多い入場者となった。

巡回鹿児島展は絵画129点(会員102点, 受賞者5点, 地元出品者22点), 彫刻12点(全国巡回作品11点, 地元会員+1点), 写真88点(会員27点, 受賞者49名, 地元出品者16名), デザイン93点(会員31点, 会友7点, 受賞者51点, 地元8点)を展示した。また、前回に同様にウクライナ支援、今年は併せて能登半島地震支援のチャリティーを実施し、額絵販売の売り上げの一部をユニセフを通じてウクライナ、能登半島地震支援チャリティーとした。

経費削減のため、昨年からポスター・チラシの枚数を考慮した。新聞社広告2回、会期中の二科展作品紙上展、カラー作品6点を掲載した。新聞紙面の事前広告の時期、タイミングなど効率よくできた。



二科鹿児島支部長 祝迫 正豊



彫刻部風景



写真部風景



デザイン部風景

	絵画				デザイン		写真			
3月3日(日)	10:00～	西	14:00～	祝迫・野平・平林	14:00～	延時	10:00～	帖佐	14:00～	菊川
3月9日(土)	10:30～	前田・餅原	14:00～	前田・祝迫・餅原			10:30～	大田	14:00～	松元
3月10日(日)	10:30～	米田・有馬・平林	14:00～	米田・野平・有馬	14:00～	延時	10:30～	内野	14:00～	米倉

主催:公益社団法人二科会, 南日本新聞社

後援:鹿児島県 NHK鹿児島放送 MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送